

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会
2023（令和5）年度第1回定例幹事会議事録

1. 開催日時：2023（令和5）年6月5日（月） 14:30 ～ 15:27
2. 開催形態：WEB会議
3. 参加館 7館14名
 - 1) 開会の言葉 久留米大学御井図書館 課長 野田 俊介
 - 2) 研究会幹事校挨拶 沖縄科学技術大学院大学図書館 マネージャー 上原 藤子
 - 3) 議長選出 九州地区協議会幹事会内規第5条により九州地区理事校の
野田俊介（久留米大学御井図書館 課長）を選出
 - 4) 議事録作成 九州地区研究会幹事校 沖縄科学技術大学院大学図書館
 - 5) 資料確認 理事校 久留米大学御井図書館
 - 6) 参加確認を兼ね各大学挨拶

参加館 7館 11名

地区別・職務上内規 第3条による	大学名	役職名	氏名
福岡北部	九州国際大学	図書係長	いまい すぐる 今井 卓
福岡南部	サイバー大学	図書館長	ふじた れいこ 藤田 礼子
		図書館担当職員	いのもと よしこ 井元 祥子
		図書館担当職員	やまもと ひろこ 山本 裕子
九州中部	立命館アジア太平洋大学	専任職員	ゆのき はじめ 柚木 一
九州南部	鹿児島純心大学	図書課長	いわなが まきこ 岩永 眞佐子
九州地区理事校	久留米大学	課長	の だ しゅんすけ 野田 俊介
		課長補佐	やました あつこ 山下 敦子
内規第3条第3号による出席 [研究会幹事校]	沖縄科学技術大学院大学	マネージャー	うえはら ふじこ 上原 藤子
内規第3条第2号による出席 [前理事校]	福岡工業大学	事務部長	なかしま りょうじ 中島 良二
		係長	くらもと いくえ 倉本 育江

4. 議題

議事に先立ち、WEB会議システム（Zoom）による円滑な進行のため、幹事校に代わり九州地区理事校である久留米大学が司会進行をつとめることと、議事進行記録のため録画することが了承された。議事録については研究幹事校が担当することとなった。

(1) 協議事項

① 2023年度九州地区研究会実施要領(案) 1, 2について

沖縄科学技術大学院大学（以下OIST）（上原）より、実施要領（案1）資料1-1(p.2)に基づき説明を行った。会場について学内での場所の変更があったこと、講演者については学内の教員による講師の選出が難しいため、外部の講師へ依頼したこと、台風等による中止の場合にはメール会議となること、スケジュールの確認、参加費、事例報告館の用意する資料等について提案され、承認された。

続いて資料1-2 (p.3) の実施要領（案2）の詳細案の説明を行った。事例発表の西日本工業大学の大学名の修正依頼と福岡工業大学の発表者の修正依頼があった。実施要領案2についても承認された。

② 2023年度九州地区研究会の予算(案)について

OIST（上原）より、資料2(p.4)に基づき予算について提案し、久留米大学（野田）より補足説明を行った。収入の部の地区研究会交付金は収入として考えるのではなく、地区研究会幹事校交付金70,000円は、準備等大変な幹事校の研究会運用にあたる費用なのではないだろうか。憶測ではあるが、本来収入の部ではなく大学の方へ直接入金するべきもので、運用にあたる方達の人件費や旅費等に充てるべきものではないかと考え、研究会の運営費とは別物ではないかとの考えを示した。また、意見交換会や昼食代についても運用を担う方達の分は支出として計上して良いのではないかと意見を述べた。サイバー大学（藤田）より幹事校交付金は私図協から交付されているということで間違いないかとの質問があり、久留米大学（野田）からそれで間違いないと回答した。さらに、サイバー大学（藤田）より過去にも幹事校による持ち出しは多少あったのではないかと推測されるので、過去の状況が判断材料になるのではないかと質問があった。それに対して久留米大学（野田）より4年前の資料を確認すると収入の部に地区研究会交付金と地区研究会幹事校交付金が入っていた。しかし、支出の部にその明記がなく、全体の運営費となっていた。私図協が研究会交付金と幹事校交付金と分けて入金していることを考えると幹事校交付金は運用にあたっての交付金（例えば、超過勤務等人件費）ではないかと考え、今回の提案に至ったと説明した。

サイバー大学（藤田）より交付金の使用目的確認が必要だと思うし、幹事校交付金が幹事校に直接入ってしまうと支出に計上されないことになるが、それで私図協は問題ないかとの発言があった。久留米大学（野田）より西地区部会の会長校である中部大学に確認したところ、その使用目的については、各部会、九州地区協議会で審議・決定頂いて構わないとの回答を得たと報告した。サイバー大学（藤田）より、収支ははっきりさせておいた方が良いので、収入の部に幹事校交付金70,000円とあるなら支出の部に幹事校へ交付70,000円という項目があった方が対応するのではないかとの言及があった。その収入が支出の中でどこに該当するのか、項目を分けてわかる形にしないといけないだろう

うと意見を述べた。

他の参加者からは、それ以外の質問はなかった。久留米大学（野田）より収入の部は研究会交付金と研究会幹事校交付金70,000円はそのまま計上し、支出の部で研究会幹事校交付金70,000円を計上し、幹事校に何らかの領収書を発行して頂いて、収支をプラスマイナスゼロにして、基本的には研究会は交付金と前年度繰越金により運用する方向でもっていきたいと提案され、原案通り承認された。

また、久留米大学（野田）より支出の部の印刷費については、コロナ禍前には研究会記録誌を発行していた。そのため印刷費と各館への送付として郵送費を計上していたが、コロナ禍では発行されず、メール配信にて対応していた状況を踏まえて、幹事校の負担と予算の削減を考慮し、記録誌は紙媒体で発行しなくても良いのではないかと提案された。

立命館アジア太平洋大学（柚木）と鹿児島純心大学（岩永）より、紙媒体での発行はやめて、メール配信し、各館にて保管していけば良いのではないかと発言があった。

研究会記録誌は紙媒体では発行しないこととして、印刷費の150,000円は削除することで承認された。予算案で印刷費の150,000円を計上している分については、0円に修正し計上することで承認された。

また、協議会交付金というものも別途あり、例年、毎年会費として3,000円を徴収していた。協議会自体がメール会議になっていることもあり会費としては徴収しないということで協議会では承認を得ていた。協議会交付金は皆様から3,000円を徴収したもので運営されているが、研究会同様に幹事校の負担を考えるとこれも協議会幹事校に与えられるものではないか、本来は協議会で議論すべきものかもしれないが、皆様の意見を伺いたいと久留米大学（野田）から問いかけがあった。サイバー大学（藤田）より2019年までは金額が3,000円だったが、2020年から5,000円に上がる話があったことについて質問が出されたが、2020年以降は会費として徴収していないことが確認された。サイバー大学（藤田）より、3,000円集めた時にどのような用途であったのかをまず調べた方がよいが、会費徴収により運営に関わる人たちの負担が減るのであれば集めた方がよいと思うとの発言があった。福岡工業大学（中島）より、以前大分で実施された時には3,000円を集めていたが、記憶が曖昧だが、最後の懇親会の費用にも実際には使用していたように思うとの発言があった。その後研究会の集まり自体がなかったため、会費も九州地区では徴収していないという経緯が説明された。久留米大学（野田）より、協議会の集まりがあった際に今後協議会運用費についてもどのように運用していくのかを提案していきたいとの発言があった。

③ 次年度（2023年度）の九州地区協議会（総会）での講演者推薦依頼について

鹿児島純心大学（岩永）より集会形式で行われるのであれば、講演会はあった方がよいが、メール会議の場合はなくてもよいとの意見があった。続いてOIST（上原）よりその意見に賛同があり、講演者の選定については当番校が選ぶのかと質問があった。久留米大学（野田）より、講演者推薦候補がいる場合はそれを協議するが、いない場合には幹事校を中心に協議して進めていくとの回答があった。審議の結果、集会形式で開催するのであれば講演者は必要だが、メール会議の場合は必要ないことで承認された。審議の

結果を南九州大学へ連絡することを付言。なお、現段階では講演者の推薦候補はなかった。

④ その他

特に意見はなかった。

(2) 確認事項

① 私図協 2022年度西地区部会第2回東西合同役員会議事要録及び関連資料について

久留米大学（野田）より、私図協2022年度西地区部会第2回役員会議事要録より西地区部会会務報告と2023年度西地区部会事業計画（案）および予算（案）について資料4(pp. 6-20)に基づき以下のとおり報告があった。

会務報告では、西地区部会長校 松山大学より、資料(p. 7)に基づき報告され併せて、2022年度西地区部会スリム化検討委員会を一度も開催することが出来ず、西地区全体で輪番制を組み直す検討が進まなかったことについて、お詫びを述べられた。

事業計画（案）および予算（案）について、西地区部会長校 松山大学より、資料(p. 13~14)に基づき提案され、審議の結果、承認された。

2023年度西地区部会総会開催概要（案）について、西地区部会長校 松山大学および次年度総会当番校 名古屋学院大学より、資料(p. 15)に基づき提案され、審議の結果、承認された。

2023年度西地区部会研究会開催概要（案）について、西地区部会長校 松山大学および次年度研究会当番校 広島工業大学より、資料(p. 16)に基づき提案され、審議の結果、承認された。

確認事項として、2023・2024年度西地区部会役員校について【資料(p. 17)】、2023・2024年度西地区部会当番校について【資料(p. 17)】、2023年度西地区部会関連行事日程について【資料(p. 18)】、それぞれの資料に基づき確認が行われた。

② 参加館により、資料5(pp. 10-11)「九州地区協議会幹事会内規」の確認が行われた。

(3) その他

① 定例幹事会開催について

久留米大学（野田）より資料6(p. 23)に基づき第2回定例会開催の提案をされた。2022年度度の定例幹事会において、2023年度以降の定例幹事会はWeb会議とすることが承認されている。前年度とは幹事会メンバーが異なるが旅費削減にもつながることから再度提案された。また日程については12月第1金曜日開催が慣例となっているので、12月1日金曜13時開催の案で提案があり、了承された。また、第2回定例会には2024年度協議会当番校南九州大学へは理事校 久留米大学から伝えることが報告された。

② 九州地区協議会役員校等ローテーションについて

久留米大学（野田）より、2022年度九州地区協議会（メール会議）の協議事項において、参考資料1(p.24)「[2022年度版]のローテーション表」の承認を受けたことが報告された。

③ 地区別加盟校名簿について

久留米大学（野田）より参考資料2-1, 2-2(pp.25-26)の2022年度九州地区協議会（メール会議）において、地区別の不均衡解消案について承認を受けたことが報告された。また、資料「役員校実績と2023年度以降予定一覧」を参考に、実績が少ない加盟館を原則、優先順位上位として、ローテーションを組むことを提案され、承認を受けたことが報告された。

④ 2025年度以降の理事校について

久留米大学（野田）より2025年度以降の理事校については、前理事校の福岡工業大学が、ローテーション表[2022年度版]を基に上位校に打診してこられたが、現在も未定となっていることが報告された。

⑤ 九州地区研究会について

久留米大学（野田）より2021年度定例幹事会において、九州地区研究会をなくし、加盟館ローテーションの負担を減らす提案もあったが、スタッフの育成・交流面を考慮するとなくなると困るとの意見が多く、エピソードの披露、図書館紹介など、業務委託化や専任職員数減少にも対応できる負担のかからない内容（ただし、研究・事例報告も含める）として、分担を依頼することを提案され、審議の結果承認を受けたことが報告された。さらに前理事校 福岡工業大学は、後任が決まらないため、異例の2期4年間の理事校を務められたことを説明し、ローテーションの承認を受けたにも拘わらず辞退され、後任が見つからない現状であることを報告した。この問題に対して打開策があればメールでも構わないので、是非、ご提案頂きたいとの依頼があった。

来年度以降の幹事校が未定であり、今回研究会幹事校交付金と同様に各大学の負担のないような運用にすべきではないかと提案理由の説明があった。

議題終了後、質問・意見・提案があればご発言してほしいと呼びかけに対しては、特に意見はでなかった。

最後に今後のスケジュールについては、6月中旬を目途に議事要録を今回の参加校に確認後、私立大学図書館協会のホームページに掲載する予定であることが説明され、閉会した。

以上

議事録作成：沖縄科学技術大学院大学 上原 藤子